

第1回学校運営協議会開催！



第1回学校運営協議会では、令和6年度の学校運営方針「未来を共に創る」を基にした、見附中の知・徳・健の取組（見中ホームページ参照）を説明し、協議会委員の方や協働本部委員の方と共有しました。そしてそれらの取組をどのように評価し、教育活動を改善していくかについて確認しました。その後、友和会役員11名も参加し、昨年度まで何度も協議を積み上げてきた「地域と学校が連携した取組」の方向性を可視化した『見中ロードマップ』（左図）を活用し、実現に向けて課題をどのように解決していくかを検討しました。

見中CSSニュース Vol.15

令和6年5月7日 火曜日 発行

協議した内容を紹介し合っている様子



令和6年度友和会スローガン

多くの人の関わりを生むためには!?

未来を創る「挑」戦！

「おもしろい」取組への

今年度の学校運営協議会委員 & 地域学校協働本部委員です！

役職	氏名（五十音順・敬称略）
学校運営協議会委員	五十嵐拓也（PTA会長）
	江田隆行（同窓会長・元PTA会長）
	大花克浩（地域コーディネーター）
	小林恵子（主任児童委員）
	佐藤秀一（元PTA会長）
地域学校協働本部委員	宮島真里（地域代表）
	石田庄作（ほっと新潟）
	北村秀子（まちなか東）
	倉重重一（いこいの郷庄川平）
	坂田康之（スマイル西）
	高橋一栄（やすらぎの郷）



友和会会長と副会長から今年度のスローガン「『挑』～仲間と共に、見附と共に成長していく見中～」について説明がありました。その挑戦の一つである「畑拡大による作物の栽培」と、「地域イベントへの参画」について協議が進むと、「最終的なゴールをどこに設定するか」「多くの人（地域住民、保護者、生徒、教職員）を巻き込むためには何が必要か」について課題が挙がり、さまざまな意見が交流されました。その内容を友和会総会で改めて全校の意見を取り入れながら考えを深めます。関わるみんながまたやりたくなるおもしろい取組を、みんなで創っていきましょう！



見附中ホームページ毎日絶賛更新中！子どもたちの生き生きとした様子をご覧ください！



よろしくお願ひします！

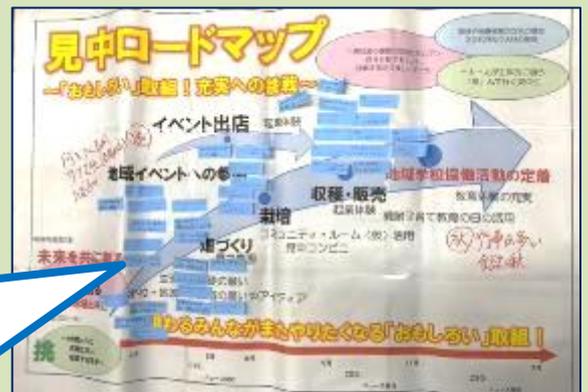
こんな話題が挙がりました！



- 畑の土壌づくりに地域の協力必要。予算は？
- 人を巻き込む情報発信が必要。ターゲットは？
- 生徒、地域、保護者の活動のタイミングは合うのか。役割分担はどうすればいいか
- どうやって後輩たちに引き継いでいくか
- 市場で売るのはどうか。料理教室はどうか
- 多くの人に笑顔になってもらいたい！



- 収穫したもので給食試食会したらどうか
- 一緒に作って、一緒に食べる。どっちも楽しい
- 休日の水やりはどうするか？
- コミュニティイベントに参画してほしい
- 調理実習で地域の人と一緒に活動
- 回覧板を活用して生徒が発信できるか
- キャラクターづくりをしたらどうか？



- 来年度につながる挑戦になるために、サツマイモ+新たな作物に挑戦
- 友和会事務局以外の生徒をどう巻き込むか。目的を明確に伝えないと
- ゴール設定は「秋」がいい。育てて収穫したものをどうしたいか？自分たちも味わう
- 販売した収益をどう活用したいのか？



- 一部の生徒ではなく全校生徒が関わるには
- パブリックコメントの活用はどうか
- 作物の知識や地域イベントの情報を得る
- 水やりをあまりしなくても育つ作物（サツマイモ、落花生…）
- お店とコラボ。パッケージデザインや商品名を募集
- 販売価格を地域に調査



学校運営協議会の後コアチーム会議を開催し、各グループで話し合った内容を基に、具体的な今後の方向性について検討しました。まずは、生徒が何を作って、それをどうしたいのかを明確にした上で、動き出していくことを共有しました。そして、畑づくりの具体的な工程や収穫後の動きについて役割を確認しました。実行に向けて確実に前進しています！